

「みんなが『明日も学びたいと思える』学校」実現のための 生徒参加型学習環境整備アンケートについて(案)

1 提案の趣旨

「明日も学びたいと思える学校」の実現には、生徒が愛着を持てる「居場所」が不可欠です。それは、生徒自身の手で学校を良くしていく経験を通してこそ育まれるものと考えます。つきましては、生徒が環境改善に参画する機会(アンケート)を設け、主体性を育みつつ、生徒の声を反映した効果的な予算執行を行うため、本企画を提案いたします。

2 目的

(1) 主体性・参画意識の醸成(教育的視点)

生徒自身の「気づき」が学校環境の改善につながる成功体験を通じ、「自分たちの学校は自分たちでつくる」という当事者意識及び公共心を育む。

(2) 心地よい居場所づくり(環境的視点)

生徒の実感に基づく困り感(不便・不満・危険)を解消することで、心理的・物理的に安心して過ごせる学習環境及び居場所を整備する。

(3) 予算の適正かつ効果的な執行(財務的視点)

教職員の視点のみならず、使用者である生徒のニーズを的確に把握することで、真に必要な物品・修繕へ重点的に予算を配分する。

3 実施概要

(1) 名 称 「明日も学びたい学校にしよう！学校の『これ直して・あれ欲しい』アイデア募集」アンケート

(2) 対 象 全校生徒

(3) 方 法 Google Classroom によるフォーム配信

(4) 期 間 令和7年12月10日(水)～ 12月17日(水)

・12／ 3(水) 運営委員会提案

・12／10(水) 打ち合わせで職員に周知、給食時放送で生徒へ周知

・12／17(水) 運営委員会で経過報告

(5) 内 容 校内施設・設備に関する改善提案、要望の収集

※アンケートの視点 単なる「欲しいものリスト」ではなく、「より良い環境をつくる」という視点での問い合わせ

4 収集した意見への対応方針

集約した意見は、校長、教頭、会計担当者で精査し、以下のとおり対応する。

(1) 即時対応(安価な修繕・物品)

今年度予算(消耗品費・修繕費、PTA 生徒援助費、生徒会費 等)を活用し、優先度の高いものから速やかに執行する。年度末における予算の有効活用策としても位置付ける。

(2) 検討対応(高額・大規模修繕)

次年度以降の予算要求資料として活用する。

(3) 却下(教育的配慮)

学校生活に不要なものや、校則「あゆみ」に反するものは、理由を添えて「対応不可」とする。※必要に応じて生徒指導部、生徒会と相談

(3) フィードバック:

対応結果を生徒へ広報し、生徒の活動成果として還元する。昇降口での掲示や Google Classroom での周知。

5 教職員への依頼事項

回答の協力呼びかけ。

「明日も学びたい学校にしよう！学校の『これ直して・あれ欲しい』アイデア募集」

生徒のみなさん、こんにちは。事務室です。

みなさんが毎日過ごしていて、「ここのドアが開けにくい」「あそここの電気が暗い」「トイレのフックが壊れる」など、気になっていることはありませんか？「もっとこうだったらいいのに」「あんなものがあったら便利なのに」という声を、ぜひ教えてください。

予算（お金）には限りがあるので全部は叶えられないかもしれません、安いものやすぐ直せるものは、今年度中に対応できるかもしれません！みなさんのアイデアで、明日も学びたいと思える学校を作っていきましょう。

あなたの学年を教えてください*

- 1年生
- 2年生
- 3年生

あなたの4桁番号(半角数字)を教えてください。

(任意です。でも教えてくれたら詳しくお話をきたいときに助かります！)

短文回答

「ちょっと危ないな」「不便だな」と感じている場所について教えてください。

(例：学習室の時計が止まってる、廊下の曲がり角でぶつかりそうになる、部室の鍵が開きにくいなど)

長文回答

休み時間や放課後、部活動の時などに、「ここにこれがいたらもっと快適なのに…」と思うことはありませんか？アイデアを教えてください。

(例：友達と話すためのベンチを増やしてほしい、水筒を置く棚がほしいなど)

長文回答

学校の中で、あなたが一番「ホッとする場所（落ち着く場所）」はどこですか？また、どうすればもっと良くなりますか？アイデアをお知らせください。

長文回答